

ないえ会 会報 No.15

2010年12月25日

- 福祉ショップとしての「木菟」：高橋靖代
- 職員紹介：浅井真由・稲垣葉月



詰め放題で販売している椎茸（休日は完売のことも）

福祉ショップとしての「木菟（みみずく）」

「木菟」担当 高橋靖代

木菟は「喫茶木菟」から「喫茶&福祉ショップ木菟」に業務転換し3年が経過しました。前回お話ししましたように、高速道路無料化や道の駅数の増加など様々な問題が影響し、喫茶業務だけでは経営が厳しくなっている現状から、福祉ショップとしての物販業務にも力を入れております。

又、秋口からは小豆やトラ豆といった豆類も販売しています。この豆はさやから豆をはずし、磨き、選別し、袋詰めするという一連の作業を介護班が行なっております。一つ一つ丁寧に磨かれた豆はお客様から大変感心され喜ばれている品物です。



さて、今回は木菟で販売している物販品について紹介させていただきます。販売品目として、当法人の農産物、手芸作品はもとより、地域品の販売、近隣福祉施設の手工芸品の委託販売も行なっております。法人の物では『就労支援センターすまっしゅ』生産のミネラル菌床椎茸の他、介護班や就労班の生産した、アスパラやとうきび、ジャガイモ、ピーマン、豆類といった季節毎の野菜も店頭と並びます。

今販売に一番力を入れている商品がこの椎茸です。以前は収穫量が不安定で毎日供給できませんでしたが、今春助成金により椎茸のハウスが二棟建設された事により、生産量が増加し、道の駅でも毎日販売する事が可能となりました。新鮮な上、椎茸の香りたぷりとした食感に優れたこの椎茸だけを買いにわざわざ来店されるお客様もいます。生椎茸は勿論の事、乾しいたけも大変好評です。乾燥機で3日間乾燥させた乾しいたけは、大量機械生産ではなく全ての工程を手作業で行なう手間ひまかけた逸品です。生椎茸、乾しいたけいずれも、品質、味、共に自家生産品として自信を持って販売できる品物だと思います。



地域品として、地元奈井江の老舗そば屋である『からまつ園』のそばや、奈井江町陶芸サークル『奈々窯』の陶芸作品、砂川市の米なども販売しております。米の品種は『おぼろづき』と『ゆめぴりか』ですが、通気性を考え、どちらもビニール製の米袋ではなく紙製の米袋に入れて販売しております。更に、精米して置いておくだけでも糠くささが出てしまう為、一週間毎に発注し、精米日の新しいお米を販売するよう心がけております。5kgの金額は、おぼろづき2,000円、ゆめぴりか2,200円と道産米の中では少々高値ではありますが、味、粘り、甘みなど大変優れており、一度食べていただくと納得していただけるのではないのでしょうか



<次ページに続く>

<前ページから続く>

近隣福祉施設の製品では、『くるみ作業所』（砂川市）の手作りクッキーと手芸品。『希望学院』（砂川市）の手作りジャム、廃油エコせっけん。『エルム共同作業所』（上砂川町）の手芸品。『星の広場』（芦別市）の真空とうきびなど委託販売しております。その他、市場や地元農家の規格外品野菜も不定期で入荷し、格安で販売する事により、木菟名物としてお客様に認知されております。



現在このような品物を販売しておりますが、委託品や規格外品に頼らず、当法人の商品、自家生産品の品揃えを

充実させたいというのが『喫茶&福祉ショップ木菟』の担当者としての理想であります。理想に近づけるべく、オリジナル品の商品開発や製作等、全体で考えていく必要性も感じておりますが、目下のところは福祉施設の取扱製品数を増やし、道の駅にあるテナントとしての特性を利用し、空知管内福祉施設のアンテナショップとして「喫茶&福祉ショップ木菟」を位置づけて行きたいと考えております。

小さな店ではありますが、お客様に愛される店である事、利用者スタッフが生き甲斐と働く喜びを感じ、日々笑顔で働ける場である事を心がけ店作りにも努めております。どうぞ父母の皆様方のご利用ご協力を宜しくお願いいたします。

写真説明：①店内の様子、②からまつ園半生そば、そば茶（そば粉は浦臼産ぼたんそば使用）③砂川産米（味に定評のおぼろづきに加え昨年デビューのゆめぴりかも販売中）④福祉施設の委託品（エコせっけん、ジャムは通年人気）

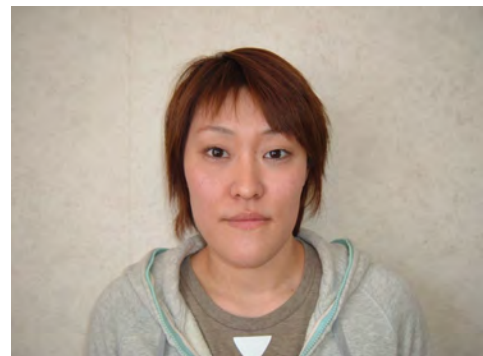
職員紹介

クラスでの自分流の取り組み

浅井 真由

短大を卒業し、奈井江学園に就職して、就労班の担当をさせていただいてから今月でもう8ヶ月になりました。施設での実習経験が少なく、最初はどんな仕事をやるんだろう、と不安でいっぱいでした。クラスでは、グループホームやケアホーム、在宅からの利用者の方が多く、主に関わりの場となるのが、作業場でした。はじめは、職員の方々に教えてもらいながら作業内容などを覚えることで精一杯で、利用者の方々と関わりも少なかったのですが、一緒に作業に取り組んでいく中で、利用者の方がどんな性格なのか、どんなことが得意なのかということが段々知ることが出来ていき、今では少しずつ信頼関係も築けてきたのではないかな、と思います。これか

らは、もっと利用者の方の頼ってもらえるようになっていきたいと思えます。



グループホーム担当です

稲垣葉月

みなさん初めまして。産休に入られたGH担当の高橋麻由子さんの代替で働かせて頂いている稲垣葉月といたします。9月に入社してから早いもので3カ月が経ちました。以前も施設で働いていたのですが、生活介護にいたためGHは分からない事が多く、その状態でいきなりGH担当になり、右も左も、ましてや前も後ろも分からないような状態で、世話人さんに怒られ、利用者さんにも怒られ、ここまでなんとかやってきました。周りの方々が色々指導してくださったお陰で、今ではすっかり(?) 仕事が板に付いてきたように思います。仕事への取り組み方ですが、私は、利用者さんと接する上で大切にしている事があります。それは利用者さんに感謝する事ときちんと謝る事です。人として当たり前の

事ですが、当たり前の事ほど意外と難しく、大切にしていかなければならないのではないかと考えています。未熟さゆえ頼りないところばかりの私ですが、精一杯頑張っていきますので、よろしくお願いいたします！

